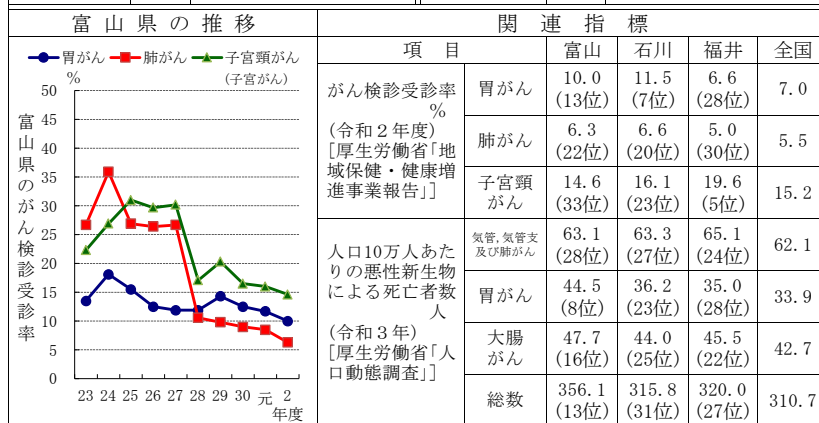


72. 特定健康診査受診率

都道府県名	順位	特定健康診査受診率 % (令和2年度)	都道府県名	順位	特定健康診査受診率 % (令和2年度)
山形	1	64.4	群馬	24	51.9
★ 東京	2	63.4	鳥取	25	51.8
富山	3	60.8	高知	26	51.5
宮城	4	59.0	佐賀	27	51.2
長野	5	58.6	熊本	27	51.2
新潟	6	58.3	京都	29	50.8
島根	6	58.3	徳島	29	50.8
三重	8	57.7	岡山	31	50.3
山梨	9	57.3	茨城	32	49.9
石川	10	57.1	宮崎	32	49.9
静岡	11	56.4	兵庫	34	49.7
滋賀	11	56.4	広島	34	49.7
愛知	13	56.0	鹿島	34	49.7
岩手	14	55.7	大阪	37	49.6
岐阜	15	54.5	青森	38	49.1
大分	16	54.3	秋田	39	48.9
★ 全国平均		53.4	福岡	39	48.9
福井	17	52.8	沖縄	41	48.8
福島	18	52.5	愛媛	42	48.2
神奈川	19	52.4	山口	43	48.1
栃木	20	52.2	奈良	44	46.4
香川	20	52.2	長崎	45	46.1
埼玉	22	52.1	和歌山	46	45.2
千葉	23	52.0	北海道	47	43.3



資料出所 厚生労働省保険局資料 ・ 調査時点 各年度 ・ 算出方法 受診者数÷対象者数

注) 1 推移グラフの子宮頸がん検診は、平成24年度まで「子宮がん検診」として調査している。
 2 平成27年度はがん検診の対象者数について報告内容の精査を行い、平成28年度は対象者数は各がん検診の対象年齢の「全住民」を報告するよう徹底したため、対象者数の報告数が平成26年度までとは異なっている部分があり、受診率の比較にあたっては留意が必要。
 3 平成28年2月に「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正が行われ、胃がん検診及び乳がん検診について、検診方法、受診対象、受診間隔等に変更があったため、受診者数が平成27年度までとは異なっている部分があり、受診率の比較にあたっては留意が必要。